

## J4は授業や自分・仲間を大切にするためにあります

アメリカのある研究所がこんな実験をしました。2クラスで同じ先生が同じ授業をしました。Aクラスの方には「この先生は、評判の先生です」と言ってから授業をしました。Bクラスの方には何も言わずに授業をしました。すると、その授業の結果、Aクラスの方では評価基準をクリアした生徒(◎○の生徒)がBクラスの倍ほど出ました。

人の学ぶという行為が、その人が教えてもらう人への姿勢・態度で変わるということは想像できると思いますが、こういう実証的な結果を知らされるとあらためて授業には、授業を受ける者の授業する人への姿勢が大きな意味をもつことを思いしらされます。



より良い授業を先生とみなさん生徒と共に作っていかうという本通信の趣旨から、誤解を恐れずにあえて言います。

授業は先生から教科の勉強を生徒であるみんなが教えてもらう場です。そこにある先生と生徒の関係というのは、対等な関係ではなく、生徒であるみなさんは先生からの説明を聴く、指示に従うというある意味で上下の関係です。だから、この時間の責任者である先生の説明を聴く、指示に従う、という気持ちを持たなければ、授業の場で「教えると教えられる関係」=「学びと学びあい」はそもそも成立しないのです。

西中学校の授業は、けっしてそういう「学びと学びあいの場」になっていないとは思っていません。逆に、そういう場になっていると思っています。しかし、人間、気持ちがいづもそうになっているとは言えません。ついつい、ダラダラとまでは言いませんが受け身的な気持ちで授業に参加してしまう時もあります。



そんな時にこそ、クラスの仲間の力=J4の力によってみんなは支えられていることを知ってください。J4とは授業の「準備、構え、礼、聴く」です。西中学校では、このJ4によって、授業の場が「教えると教えられる関係」=「学びと学びあい」が生まれるように、授業の最初の場面でみんながみんなが支えあえるようにしているのです。

ぜひ、J4をみんなの力で大切に、授業を！ひいては自分や仲間を大切にそんなクラスや授業にしていってください。